



「時代の進化とともに学校も進化している！！」

小学部主事 伊藤 世佳

近年の急速なデジタル化に伴い、学校教育においてもパソコンやタブレットの使用、デジタル教科書やインターネットの活用など、ひと昔前には考えられなかった教育活動が可能になりました。本校でも、10年以上前からICT教育の研究が進められ、特別支援学校における活用のノウハウが蓄積されてきました。最近では、国の施策である「GIGAスクール構想」により、「一人一台端末」や「高速ネットワーク環境」の整備がなされ、より一人一人の学びに応じた実践が期待されています。

そこで小学部では、これまでの本校のノウハウを活かしつつ、更に一人一人に合わせた、より質の高いICTの活用を目指して、夏季休業中に勉強会を開きました。講師は、5年生の担任で情報教育部主任でもある朝倉教諭です。事前に職員からのアンケートで活用の難しさや成功例などを聞き取り、それを基に学習会の内容や演習の方法を工夫しました。写真は、そのときの研修の様子です。担任する子供たち一人一人をイメージしながら実際に機器を操作し検討を重ねました。

機器の操作面の難しさについては、スイッチ類との組み合わせでより使いやすいものにカスタマイズすることはもちろんのこと、操作しやすい姿勢や部位、機器を固定する位置については、自立活動専任の山田美空教諭や前職が作業療法士でもある宇都教諭と共に協議していきました。

2学期からはそれぞれの協議を踏まえ、各学年で様々な実践が取り組まれています。子供たちの写真はその様子です。新たな取組を始めた児童、これまでの実践に改良を加えた児童、いろいろな機器を試行し良い方法を探っている児童など、皆が熱心に取り組む、学部全体が活気づいています。

さあ～、この勢いに乗って、小学部はさらに進化していきますよ～！！子供たち一人一人の学びを皆で高めていきましょう！！



親子ふれあいキャンプ療育事業

夏季休業中の8月3日（日）、PTA活動の一環として国庫補助事業親子ふれあいキャンプ療育事業を行いました。「防災・応災について学ぼう」をテーマに、諫早市のこどもの城、障害福祉課、危機管理課、PTAで協働して企画した事業です。当日は145名の参加があり、親子で応災に触れたり考えたりしました。また、ワークショップを通して他学年の保護者さん同士の交流もできました。

いつどこで災害に合うかわからない時代。防災・応災を考える良い機会となりました。

非常食の試食コーナー。ピラフ、ハンバーグ、スパゲティ、豚汁、パンなど、最近是非常食の種類も豊富になりました。味も美味しかったです。

諫早市からは非常用袋の中身や折り畳みベッド、簡易テント等を展示していただきました。



今月の輝き face - 高等部3年生修学旅行 -

本校高等部3年生は、9月24日（水）～26日（金）に大阪方面へ2泊3日の修学旅行に行ってきました。交通手段に新幹線とリフトバスを使って移動しました。新幹線の中で食べる駅弁は最高に美味しかったです！

梅田スカイビルでは、173mの展望台からの眺めを満喫しました。多くの観光客がいる中で買物をするのも少し苦勞もしましたが、都会を感じられる良い経験ができました。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンでは、3班に分かれて混雑状況を確認しながら計画していたアトラクションを体験しました。園内で会うキャラクターやダンサーとも記念写真！

今回の修学旅行では、事前に調べたことと実際の違いを肌で感じ、友達や教師に相談しながら困ったときの対応の仕方についても学ぶことができました。最終日に学校に到着した生徒たち。一回り成長したように感じました。



修学旅行（訪問教育諫早地区）

9月25日（木）、訪問教育諫早地区中学部3年生は、大村方面（ミライ on 図書館、コレモおおむら）へ修学旅行に行きました。1名は、諫早駅からJRに乗って大村駅へ。短い時間でしたが、電車の揺れや車内の雰囲気を感じ楽しむことができました。ミライ on 図書館では、職員の方に絵本の読み聞かせをしていただいたり、自分で選んだ本を借りたりしました。館内にあるシアターでは画面に触れると音声が聞こえることに気付いて表情を変えるなどいつもと違う体験を楽しみました。コレモおおむらでは、友達に頼まれた品物を探したり、自分の買いたい品物を教師と一緒に選んで買ったりしました。

旅行中は、普段とは違う雰囲気を感じ生き生きとした表情が多く見られ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



修学旅行に同行していただいた皆様、ありがとうございました！

